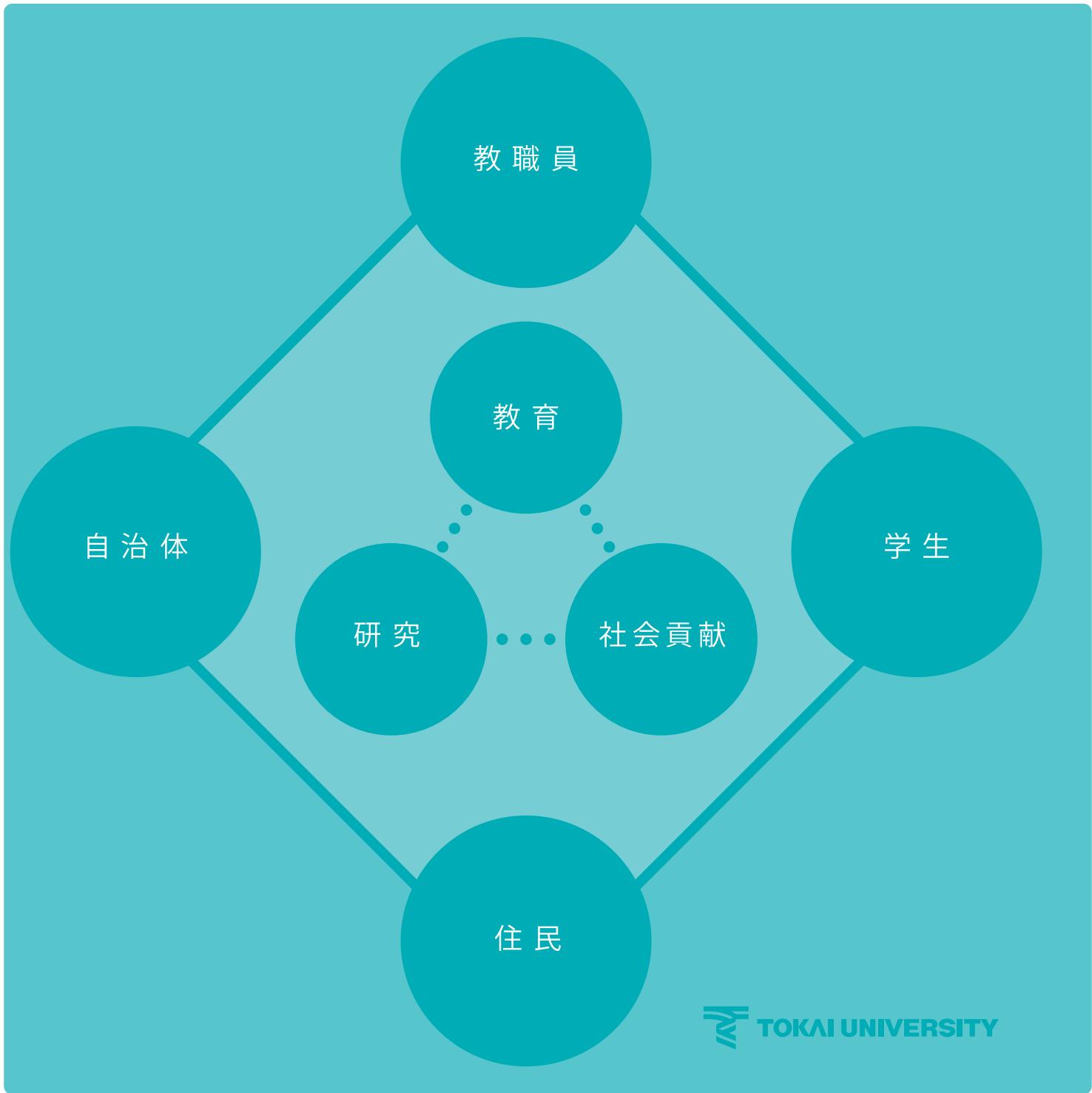




To-Collabo

Tokai university Community linking laboratory





「To-Collabo」とは、東海大学が進める地域連携のこと。文部科学省の平成25年度「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に基づいて、キャンパスがある地域特有の問題や共通課題を各校舎の教職員、学生、市民、自治体が共有し、協力して解決策を探る地域連携活動です。

「To-Collabo」では、全国で共通する「地域の生活を充実させる」「多世代の交流を促進する」「地域の魅力を発信する」「自然環境を守る」の課題をもとに、全国8校舎で活動する東海大学の学生、教職員の知、人、力を結集して、4つの計画8つの事業を全国連動で推進しています。

観光イノベーション計画

地域デザイン計画

To-Collabo

ライフステージ・ プロデュース計画

エコ・コンシャス計画

「To-Collabo」の地域連携活動を通じて、学生による社会貢献をめざすとともに、パブリック・アーチーブメント型(PA型)教育により、学生たちのシティズンシップ(市民性)を育成しています。

「To-Collabo」の活動に関する情報はTo-Collabo WEBサイトやFacebookでご覧いただけます。

WEB <https://coc.u-tokai.ac.jp/>
FB <https://www.facebook.com/tokai.coc>
東海大学 To-Collabo 推進室 TEL: 0463-50-2406
※ 2017年4月「地域連携センター」に改称します。

WEB



FB





地域デザイン計画 安心安全事業

自治体・住民とともに、自然災害への対策活動を推進
自治体や地域住民と連携して、多様な災害への対応について検討するとともに、ワークショップやフォーラムなどの住民参加型イベントを実施することで、学生プロジェクト等の実践的な取組みを他校舎・他地域にも紹介しながら普及を図ります。また、地域住民と連携して実践する活動に学生を積極的かつ主体的に関与させながら、パブリック・アチーブメント型（PA型）教育を実践しています。

主な取組課題

- 安全・安心なまちづくりを支援する災害時避難支援情報提供システムの構築
- 津波における浸水及び避難行動シミュレーションシステムの開発と適応
- 大学病院と地域医療機関の連携による在宅医療の推進
- 地震・豪雨等による自然災害に関する防災・減災及び救援
- 連動・連携型大学生メンタルサポーター活動の展開～連動・連携型地域貢献活動が地域学校及び大学生に与える効果～

地域デザイン計画 ブランド創造事業

産官学の枠を超えて、地域ブランドの価値を共創

湘南・清水・熊本・阿蘇・札幌等、キャンパスがある地域ごとにそれぞれの地域資源を活かした商品や機器、サービスなどの開発を通じた地域ブランドの創造を目指しています。開発にあたっては、各地域の産・官・学それぞれの枠を超えて価値を共創する手法を検討し、地域固有の素材や技術の導入のみならず、関係者が主体性をもって参加する取組みを推進しています。

主な取組課題

- 暖地適応型刺無しラズベリー品種の育成と機能性評価並びに加工品の開発
- 学生による平塚市広報のためのPR映像の制作
- サクラエビ市場構造の現状と課題－サクラエビ産業と地域経済の活性化－
- 阿蘇地域におけるヤーコンを用いたブランド産地の創造
- 駿河湾産未利用魚「ハダカイワシ」の加工利活用による地域産業の活性化



ライフステージ・プロデュース計画 大学開放事業

大学という知と地の資源を活かし、多世代交流を促進

教育研究の学問分野や立地性など、学部学科等の特徴や各キャンパスの特性を活かして、教職員・学生を含めた地域住民との多世代交流を促すことを目的としています。大学がめざす「地(知)の拠点」の基盤をつくる取組みとして、市民参加型イベントや住民参加の教育プログラムを実施することで、大学と地域との結びつきの強化を図ります。

主な取組課題

- 芸術による大学開放を目的とした生涯学習型高等教育の研究
- 生命科学実習を通じた地域連携による幼児教育と初等教育の橋渡しの試み
- 世代を超えた知の共有と育成を目指した地域運動型教育プログラムの構築
- 洋上キャンパスー望星丸洋上セミナー
- 札幌市南区の再発見と活性化; 世代を超えた活動と大学の知の貢献

ライフステージ・プロデュース計画 スポーツ健康事業

自治体と連携し、地域住民に向けた健康啓発活動を推進

医学部のある伊勢原キャンパスを核に、地元自治体と連携しながら、地域住民に向けて積極的な健康啓発活動を展開しています。市民参加を基本とした総合型地域スポーツクラブの継続的な運営や、無料で健康度を測定するバスの運行など、地域住民の運動や健康に対する意識向上をめざす取組みを推進し、健康寿命の延伸を図ります。

主な取組課題

- 総合型地域スポーツクラブ「東海大学健康クラブ」に関する市民会員の健康データベースの構築並びに健康・体力づくり運営の充実に関する研究
- 世代を超えた知の共有とサービスラーニング実践プログラムの構築に関する研究
- 東海大学市民健康スポーツ大学の市民参加者の健康データの解析
- 地域住民の運動習慣形成を目的とするヘルス・コミュニケーション活動による支援
- 「東海大学市民健康スポーツ大学」を中心とした市民の健康づくりの支援活動(市民会員の身体活動量と心身の健康度の関連性の分析及び学生と市民との世代間交流活動)



観光イノベーション計画 地域観光事業

地域特性に配慮しながら、観光資源の有効活用を実践
代々木キャンパスの観光学部が中心となり、湘南・代々木・清水・熊本・札幌の各キャンパスで、地域特性に応じたデスティネーション・マネジメント（観光資源の有効活用を通した観光地づくり）を実践しています。各地域の地元自治体との連携を深めながら、現在の地域観光の活性化において重要なインバウンド観光（訪日外国人観光）などをテーマに、学生が参加する具体的な取組みを推進しています。

主な取組課題

- 平塚北西部人口減少想定地域における「産官学民」協働型観光まちづくり計画
- Sapporo Team Adventure Mobile Phone (S.T.A.M.P.) Rally
- 広域観光のディスティネーション・マネジメントを通じた地域振興
- 外国客船入港における国際観光事業への振興支援と英語教育
- 外国人の視点に立脚した新たな伊勢原市の観光資源創出

観光イノベーション計画 文化・芸術事業

知・人・資源を活用し、地域とつながる文化活動を推進

湘南キャンパスにある大学博物館や、各キャンパスの芸術文化にかかる知・人・資源を活用して、地域社会における芸術文化の享受や創造に向けた活動を積極的に展開しています。野外彫刻を活用したワークショップや大学保有の文化資源を活かしたエキシビション、シニア対象の実技系公開講座の開催など、地域住民が芸術文化にふれあう機会を創出します。

主な取組課題

- 大学が所蔵する文化財の地域における活用に関する研究
- 造形ワークショップを活用した次世代のための“ビバ（美の学びの場）”構築に関する研究
- 伊勢原市大山町・秦野市蓑毛における大山信仰の文化的景観に関する調査研究



エコ・コンシャス計画 エネルギー・ハーベスト事業

地域住民に向けて、環境・エネルギー啓発の取組みを展開

地域の子どもたちや住民を対象とした環境・エネルギー啓発教室や研究会を開催することで、最先端のエネルギー技術を紹介とともに、地域の方々と一緒にエネルギーについて考えます。最先端の再生可能エネルギー技術を利用したソーラーカーや熱音響システムを活用した教室などを学生が主体となり開催しながら、子どもたち自らが暮らす地域のエネルギー供給について考える場を提供します。

主な取組課題

- 産官学連携による弱風でも発電可能な垂直軸型風車の開発
- 島国・火山国日本における先進的発電技術を用いた創エネルギープロジェクト
- 三保松原の保全に向けた松葉の木質バイオマスガス化発電への利活用

エコ・コンシャス計画 環境保全事業

自然環境や生き物を活用し、環境教育の取組みを実践

湘南や清水、札幌キャンパスにおいて、地域固有の自然環境や生息する生き物を活用し、子どもたちが参加するワークショップを通じて環境保全型社会に向けた次世代育成の取組みを展開しています。里山や里川など地域の自然環境を舞台とした勉強会や観察会を通じて、地域固有の自然にふれる機会をつくりながら、環境保全の大切さを伝える環境教育を実践し、地域への展開を図ります。

主な取組課題

- 阿蘇地域における絶滅危惧昆虫及び植物の保全と生息環境復元に関する研究
- 収蔵コレクションは地域をつなぐ：佐藤武之「阿蘇・九州の野の花」コレクションと三宅純男「世界の昆虫」コレクション
- 秦野市立中学校で行う動植物の保護に関する法教育授業
- 神奈川県絶滅危惧種シウリザクラの衰退調査と保全対策の検討
- コムクドリの生態と渡りを解明し保全を考える - 地域と大学の協働活動として-

連携自治体

札幌校舎
札幌市南区

代々木校舎
渋谷区

伊勢原校舎
伊勢原市

熊本校舎
熊本市

高輪校舎
港区

湘南校舎
平塚市
秦野市
伊勢原市
中郡大磯町

阿蘇校舎
阿蘇郡南阿蘇村

清水校舎
静岡市



文部科学省

地(知)の拠点